

〔様式 1〕

## 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	電話	042-769-8298	
担当部課名	財務部	資産税	課	土地評価 班
事務事業名	路線価付設図作成業務委託			

## 1 総合計画における位置づけ

政策名	第 章	事業開始年度
基本施策名	第 節	4 年度
施策名	第 施策	

## 2 実施根拠及び関連法令等

相模原市賦課徴収条例
------------

## 3 事務の区分

自治事務
------

## 4 経費の区分

義務的経費
-------

## 5 事務事業の分類

市単独事業
-------

## 6 受益者負担

なし
----

## 7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
固定資産税(土地)の適正な課税及び効率的な事務を行うため、評価額の基となる路線価を検証し、評価替えに向けた路線の見直しを行うための、路線価と価格要因を反映した図面及び評価替え基準年度に向けた基礎資料となる公開図面等を作成する。(評価替えの基準年度は作成していない。)	市全域、土地及び家屋移動のあったもの。
	対象数 全路線約17,000本
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
・路線価検証のための図面.....街路条件(行き止まり検証のための図面)、最終価格検証図、状況類似検証図を作成し、路線データの検証、価格の検証に役立てた。 ・H15基準年用図面.....路線価公開図面、評価図をH15評価替え基準年の基礎資料として作成した。	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

## 8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	検証作業時間効率(倍率)	資料による作業時間(図面10枚当たり160H)÷路線価付設図による作業時間(図面10当たり8H)×100 H13年度-全作成数144枚、H14年度-全作成数192枚	資料を元にした作業と図面を活用した場合の作業時間とを比較し成果効率を見る。		20	20		20
	活動指標	作成図面÷使用図面	活用率から予算の削減可能性を見る。		100	100		100

## 9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	0	3,423	9,271	0	3,423
人員・時間数		1人・1H	1人・1H		1人・1H
人件費		49	83	0	49
その他経費					
合計	0	3,472	9,354	0	3,472
特定財源					
対象数		17,000	17,000		17,000
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	0.2	0.6	#DIV/0!	0.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	路線価を反映した図面を作成することにより、作業の精度が高まり、路線価の検証という目的を十分に達成している。
(2)必要性 評価 B ▼	A: 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B: 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	紙の図面から、デジタルに移行されつつある状況においては、コスト上昇の課題がクリアできれば、デジタル化が望ましい。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	作成された図面から、各種の要因による価格の影響が把握でき、また、データの正誤の確認などにも役立っていることから有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	資料による検証に比して、作業の正確性、時間効率の部分で有効である。
(5)公平性 評価 B ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	予算的に、全要因をテーマにすることができず、その基準年毎にテーマを変えることから、全てに公平であるといえない。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 課税内容のチェックのために土地評価の各種補正内容を土地使用図へ反映が可能か検討する。	手段	なし
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 他市においても、同様な図面を作成し検証していることから、必要性は高い。(大和市ほか)
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	評価替えに向けたの全路線のデータのチェック及び価格の検証として活用するものであり、その他にH15基準年の基礎資料として3年間使用する図面も作成している。このことから、固定資産評価業務においては、重要で業務であり、今後も継続して行う事業である。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--